

平成 22 年度 第 3 回 九州国立博物館文化財保存交流セミナー

主催 九州国立博物館
日時 平成 23 年 2 月 8 日 (火)
14:00 ~ 16:00
共催 文化財保存修復学会
後援 九州文化財国際交流基金
場所 九州国立博物館第 1 会議室

・◇・◆ プログラム ◆◇・

「韓国 保存科学の研究現況」
姜大一 (国立韓国伝統文化学校教授)

・◇・◆ 講演者プロフィール ◆◇・

姜 大 一 KANG Taiili

国立韓国伝統文化学校教授
韓国文化財保存科学会副会長

経歴

1989 年 東京芸術大学大学院美術研究科保存科学専攻修士課程修了 (修士、芸術学)
1993 年 東京芸術大学大学院美術研究科保存科学専攻博士課程修了 (博士、文化財)
1979 年 □ 2002 年 文化財庁 国立文化財研究所保存科学研究室 研究官
2002 年 □ 韓国伝統文化学校、保存科学科教授
2002 年 □ 扶餘郡 文化財委員
2005 年 文化財専門委員
2005 年 □ 忠清南道 文化財専門委員
1996 年 □ 韓国文化財保存科学会 編集理事、総務理事、監事、副会長、監査、会長を歴任

国 立 韓 国 伝 統 文 化 学 校 概 要



2000 年、文化財庁が学校設置令(大統領令第 14982 号)に従い、文化遺産を科学的・体系的に保存して伝統文化を継承・発展させる専門家を養成するために設立された。文化財管理学、伝統造形学、伝統美術工芸学、伝統建築学、文化遺跡学、保存科学の 6 学科で構成されている。

教育過程は、韓国文化と文化遺産の管理保存を基本とする理論と現場実技教育で構成されており、世界の民族文化を学ぶために、漢文・英語・中国語・日本語教育に比重が置かれている。

附属機関に、中央図書館、電子計算所、伝統文化研修院、学生生活研究所、韓国伝統文化研究所、学生生活館などがある。